

令和4年度文化財防火訓練

1月26日は奈良県の法隆寺金堂壁画が焼損した日（昭和24年）に当たることから「文化財防火デー」と定められ、この日を中心として文化財を火災や震災、その他の災害から守るため、全国的に文化財防火運動を展開しています。

市でも1月22日、長谷寺（長谷）で防火訓練を実施し、坂東消防署職員と地元消防団第5分団、長谷寺役員、文化財保護



初期消火訓練



放水訓練

審議会委員、地元の皆さんが火災発生時の対応を確認しました。

訓練は、消防署員の指導のもと、消防用設備の点検や通報訓練、消火器を使つての初期消火活動、消防団員による放水訓練などを実施しました。

初期消火訓練では、消火器の使い方を学び、万が一にも冷静に対処できる心構えを養つていただきました。

いばらきつ子郷土検定県大会

東中学校2年生 優秀賞獲得

2月4日、ザ・ヒロサワ・シティ会館（水戸市）においていばらきつ子郷土検定県大会（県教育委員会主催）が3年ぶりに開催され、市代表として東中学校2年生の8人が参加しました。会場には県内から各市町村の予選を勝ち抜いた2

年生が集まり、茨城の郷土に関する問題をクイズ形式で競い合い、白熱したクイズバトルが繰り広げられました。

東中チームは、一丸となって、最後まで粘り強く取り組み、見事準決勝に進出し、優秀賞を獲得することができました。

チームリーダーの海老原陽香さんは、「東中が初めての準決勝進出を果たすことができたのは、今まで8人で練習してきた成果だと思えます。友達との絆が一層深まりました。郷土検定を通して、茨城県や坂東市の魅力をたくさん知ることができました。会場での緊張感と正解した時の喜びは、普段では味わえない貴重な経験になりました。」と語るなど、楽しみながら茨城県の伝統や文化を学ぶことができました。

ゲストによるクイズ対決などのアトラクションもあり、笑顔あふれる大会となりました。

いばらきつ子郷土検定は、楽しみながら茨城県の伝統や文化等を学ぶことができるよう、中学2年生を対象に実施している茨城県独自の検定です。



優秀賞獲得メンバー



クイズバトルの様子



応援の様子



優秀賞トロフィー